

大分県

どうして大分県職員
になろうと思った
んですか？

「大分県は、自然豊かな環境と、安全で安心な生活が送れる地域です。また、県民の生活を支える仕事に誇りを感じています。」

「大分県は、自然豊かな環境と、安全で安心な生活が送れる地域です。また、県民の生活を支える仕事に誇りを感じています。」

「大分県は、自然豊かな環境と、安全で安心な生活が送れる地域です。また、県民の生活を支える仕事に誇りを感じています。」

「大分県は、自然豊かな環境と、安全で安心な生活が送れる地域です。また、県民の生活を支える仕事に誇りを感じています。」

わたしが
公務員に
なった理由
MY
JOB HUNTING
STORY

◎大分県職員募集総合案内2023
OITA PREFECTURE RECRUITING GUIDE

- ・ 設 立：1871年11月
- ・ 従業員数：3861名
- ・ 業 種：官公庁
- ・ 事業内容：地方自治全般（大分県では、1 誰もが安心して住み続けたい大分県づくり「安心元気」、2 知恵と努力が報われる、誰もが訪れたいと思う大分県づくり「未来創造」、3 多様性を受け入れ、支援が必要な人に寄り添う大分県づくり「共生社会」の実現に取り組んでいます。）
- ・ 住 所：大分市大手町3-1-1
- ・ T E L：097-506-5212
- ・ ホームページ：<https://oita-recruit.com/>

1. 自治体紹介、PR

県民の幸せを考え、県全体を魅力的な地域にしていく！

県職員の仕事は、県民の皆さんの幸せを考え、県全体を魅力的な地域にしていく大変やりがいのある仕事です。例えば行政職では、特定の部門や分野に限らず幅広く様々な業務に従事し、県行政のあらゆる分野での活躍が期待されます。そのため、幅広い知識と視野を持ち、どのような仕事にも対応できるゼネラリストであることに加えて、担当する職務については専門的な知識を持つスペシャリストとしての能力も求められます。私たちと共に県民の期待に応えて、「住んで良かったな、住んでみたいな」と思われる大分県をつくっていきましょう。

2. 異動・勤務条件等について

異動について TRANSFER



事務職(行政・一般事務)
の配属先は、
大分市と別府市内が全体の

約 **77%**

※令和4年4月現在

原則として新規採用時に
・本庁に配属(2年)→地方機関(2~4年)
・地方機関に配属(2~4年)→本庁(2年)
異職員としての基本を身に付け幅広い職務経
験を積んでもらうため、3~4年間程度で勤務換
(人事異動)を行います。



勤務条件 WORKING CONDITIONS



試験の種類等	初任給	
行政職	上級(大学卒業程度)	192,000円
	中級(短大卒業程度)	172,900円
	初級(高校卒業程度)	159,200円
公安職	警察官A(大学卒業)	212,300円
	警察官B(高校卒業)	181,400円

給料について

※令和5年2月1日現在

初任給は、採用前の学歴や経歴に応じて加算されます。
例えば、行政職(上級)の合格者で採用時の年齢が29歳、大学卒業後民間企業等における正規職員としての職務経歴年数が7年の場合、月額226,700円です。
ただし、個人ごとの職務経歴等に応じて金額は異なります。諸手当については、期末・勤勉手当(ボーナス)が6月、12月の年2回、計4.4月分が支給されるほか、扶養手当、住居手当、通勤手当などが支給されます。

完全週休2日制 + 年次有給休暇20日 + 夏季休暇5日

1人あたりの年次有給休暇取得実績 ※令和3年の大分県職員(知事部局の一級職)

土曜日・日曜日・祝日・年末年始が休日となる完全週休2日制で、年間20日(4月採用の場合、12月までに15日)の年次有給休暇が取得できます。加えて、6月から9月までの間に夏季休暇が5日取得できます。

14.5日/年

1人あたりの時間外勤務は、

16.4時間/月

1ヶ月の時間外勤務が16時間ということとは、1日1時間にも満たない計算です。

※令和3年度の大分県職員(知事部局の一級職)

毎週水曜日を「定時退庁日」として、定時に退庁できるように声かけが行われています。
また、土木建築部では毎月11日と18日が漢字で書くと「土」「木」に読めることから「土木の日」として定時退庁の声かけを行うなど各部局でさまざまな定時退庁の取組が行われています。

通常の退庁時間

定時退庁のための取組

17時15分

多様で柔軟な働き方の推進

在宅勤務やモバイルワーク、サテライト・オフィス勤務などのテレワークの推進や時差通勤制度の活用により多様で柔軟な働き方を推進しています。

※時差通勤...職員の働き方に応じた時差通勤制度を実施しており、例えば育児や介護を行う職員のための、B勤務(9時~17時45分)やC勤務(8時~16時45分)などが設けられています。

※サテライト・オフィス...自分の勤務地以外でもデスクワークを可能とするサテライト・オフィスを県内5カ所(本庁(大分市)、日出、豊後大野、玖珠、中津)に設置しています。

3.福利厚生等について

WELFARE

（福利厚生について）

01

LIST OF BENEFITS

主な福利厚生制度等について 知事部局に勤務する職員の例



- **職員住宅** 独身者用、単身者用、世帯用などの職員住宅が県内各地に設置されています。
- **健康診断等** 全職員を対象とした毎年1回の定期健康診断と特定年齢での人間ドックを実施するほか、各種がん検診も受診できます。また、ストレスチェックや専門スタッフ等による健康相談も実施しています。
- **給付制度** 職員やその被扶養者が病気やけがをした場合は、地方職員共済組合や互助会から医療費の給付が受けられるほか、結婚、出産、子どもの入学、休業、災害などの場合にも給付を受けられます。
- **貸付制度** 生活必需品の購入、住宅の購入、子どもの入学や修学、介護、療養、災害などで資金を必要とする場合に地方職員共済組合や互助会から貸付を受けられます。
- **文化厚生事業** 対象となる宿泊施設やレジャー施設を利用する際に補助を受けられます。

02

TRAINING SYSTEM

採用後のサポートについて



- **新採用職員研修**
 - 4月:前期研修
入庁後すぐ、県職員としての心構えや業務遂行に必要な基本的な知識、社会人としての基本的な態度や姿勢を学びます。研修を通じて同期との絆も深まります。
 - 6月~11月頃:農業等現場体験研修
農業などの現場や小規模集落の共同作業を通じて、県職員としての自覚と意識を高めるとともに現場感覚を養います。
 - 10月:後期研修
職場での実務経験を踏まえ、仕事の進め方を円滑にするコミュニケーション能力を身に付けます。
※その他の研修については、HPをご覧ください。
- **指導担当者制度** 新規採用職員一人ひとりに、職場において指導にあたる新採用職員指導担当者を配置しています。
- **グループアドバイザー制度** 先輩職員がグループアドバイザーとなり、食事会などを通じて交流し職場外での自己啓発支援やプライベートの相談を受けるなど、職種や配属先の垣根を越えてサポートしています。
- **特別相談員制度** 県職員OBが特別相談員となり、個別面談を通じて仕事や職場環境、健康状態や生活習慣などについて相談にのっています。

4. 求める人材について

- 「大分県民のために働きたい」「大分県をよくしたい」という高い志を持った人
- 難しい課題に直面しても粘り強く取り組む強さを持った人
- 県職員として高い見識と専門的な知識をもって県民の期待に応えられる人

5. 就職活動を迎える学生へ / アドバイス など

県庁の仕事、県職員の魅力を紹介します！

～大分県庁ナビゲーター（おけナビ）～

大分県庁を目指している高校生や大学生等からの「県庁の仕事」や「県職員の魅力」等に関する問合せ・相談等に対して、県庁の若手職員が電話、メール、面談等によりお答えします。

(1) 大分県庁ホームページから申し込んでください。

(URL: <http://www.pref.oita.jp/soshiki/11200/okenavi.html>)

(2) 人事課にて担当する「おけナビ」を調整します。

(3) 調整後、「おけナビ」から連絡します（利用開始）。

6. 学生の主な質問について

Q1; 県庁で働く魅力・やりがいは？

A1; 県庁の仕事は、県民の生活がよくなるためのありとあらゆることに関わっており、県の発展や県民の暮らしの向上に貢献できる大変魅力あるものです。特に県民の方から直接感謝の言葉をかけていただいたときにやりがいを感じます。

Q2; 県庁に入る前のイメージとのギャップはありましたか？

A2; 県庁に入る前は、デスクワークというイメージが強かったですが、実際は、現場に何度も足を運び、県民の皆様と接して仕事をするといったことが多々あります。県民の皆様と直接接することで、自分が誰のために仕事をしているかを再確認し、県民の皆様からの期待にさらに応えたいという思いが強くなります。

Q3; 転勤・異動は大変ですか？

A3; 概ね3～4年で勤務換(人事異動)を行いますが、新しい職場では経験豊富な先輩職員や同僚がフォローしてくれます。また、事務職(行政・一般事務)の場合の配属先は大分市

と別府市内が全体の約77%であることに加え、大分市から各地方機関まで1時間前後と通勤しやすいこともあり、引越しが必要な異動はそれほど多くありません。

Q4: 給与体系はどのようになっていますか？

A4: 初任給は行政職(上級)の場合、192,000円(令和5年4月1日現在、職歴等に応じて加算あり)ですが、期末・勤勉手当が計4.4ヶ月分支給されるほか、住居手当や通勤手当などの諸手当が支給されます。また、原則として毎年1回定期昇給があり、人事評価・能力評価による昇給も行われています。

Q5: 福利厚生の制度はどういったものがありますか？

A5: 県内各地に職員住宅が設置されているほか、宿泊施設やレジャー施設の補助を受けられる文化厚生事業などがあります。

Q6: 県庁では「働き方改革」に向けてどのような取組が行われていますか？

A6: パソコンの稼働時間を記録する「勤務時間管理システム」を活用し、業務が特定の職員に偏らないよう配慮されているほか、業務のスクラップ・縮小・効率化により業務能率の向上を図っています。また、在宅勤務や時差通勤、サテライトオフィスといった、柔軟な働き方ができる仕組みが整えられています。

7. 参考になるリンク

大分県ホームページ→ <https://www.pref.oita.jp/>

大分県職員採用ポータル→ <https://oita-recruit.com/>

県政概要→ <https://www.pref.oita.jp/soshiki/10111/kenseigaiyou2022.html>

実際に働く人の声

no.01



大分県の魅力を世界へ発信。



バックパッカーから 県職員へ転身した私の働き方

県外の大学に進学したのですが、地元で働きたいと考えていました。その時、大分県職員採用試験(特別枠)(※現在は先行実施枠)を知った親から勧められたことがきっかけで県庁を受験しました。SPI3で受験できることも後押しとなりました。

現在は、韓国や中国・香港の方々に大分県へ旅行に来てもらうための観光客誘致の業務を担当しています。各国のパートナー企業と相談しながら、市場のニーズに応じた事業を企画し、海外旅行事業者を対象とした現地でのセミナーやSNSでの情報発信などを行っています。故郷である大分県には、そこにしかない独自の魅力を持つスポットがたくさんあり、それを気づけたのは県職員になったからこそだと感じています。また、行政職は、他にもいろいろな部署で働くことになるので、部署異動を経て多様な経験ができるのも良いところです。

no.02



大分県の道路や橋梁など大きな工事に携わり地域に貢献!男女問わず活躍できる県職員としての働き方



これまで学んできた知識を生かし、大好きな大分県に貢献できる仕事がしたいと考えて県職員を選びました。現在は、中津日田道路の建設事業を担当し、工事や測量等の発注、工事現場の監督などディレクターのような立場で仕事をしています。

道路などの建設に最初の計画段階から携わっているのは、県職員等の公務員だけではないかと思ったり、完成までの過程を見届けられるのは嬉しいです。

県職員は将来への安心感もありますし、男女問わず働きやすくて生涯にわたって活躍できる仕事だと思います。



農業インフラを整備して大分県の農業を支える!自分が学んだ専門知識を活かした働き方



元々民間企業のコンサルタント会社で働いていたのですが、社会貢献という観点からも自分の経験を公共の仕事に活かしたいと思い、転職しました。

現在は、ため池の改修や農道の整備などを担当しています。ため池の改修は、決壊を懸念する地域の方々からの情報や、決壊した場合の被害の重要度を基に、地震や豪雨時の耐性を診断したうえで事業が始まります。その後、測量設計や用地の確保などを経て、工事を発注します。地域の方々と話し合っながら事業を進めていくため、県民の方々と直接触れ合える機会が多く、工事了後に感謝の言葉を言われると達成感を感じることができます。

学生へ就職するうえでもっと知って欲しいこと(詳細情報)

03

CHILDCARE LEAVE

出産・育児休業等について



● **育児休業** 職員が育児休業を取得しやすい環境づくりに取り組んでいます。

大分県庁(知事部局等)における育児休業等の取得率(令和3年度)

※男性職員の取得率には、次のいずれかの制度を利用した者を含みます。

①育児休業、②部分休業、③育児短時間勤務、④出産補助休暇(3日間完全取得)、⑤育児参加休暇(5日間完全取得)



	妊娠前	妊娠	出産	1歳	2歳	3歳	小学校入学	中学校入学
女性職員		妊娠障害休暇(有給) 1回の妊娠につき14日以内	産前産後休業(有給) 出産前8週間、出産後8週間					
男性職員			出産補助休暇(有給) 出産前4週間から出産後2週間までの3日以内					
			育児参加休暇(有給) 出産前8週間から出産後8週間までの5日以内					
男女共通	出生サポート休暇(有給) 最大年5日(体外受精・顕微授精の場合は年10日)		育児休業(無給)	育児時間(有給)	部分休業(勤務しない時間は減額)	育児短時間勤務(勤務時間に応じた額を支給)	子の看護休暇(有給)	
			子どもが1歳までは育児休業手当金の支給あり	2歳まで:1日60分を2回または1日120分を1回 3歳まで:1日45分を2回または1日90分を1回	勤務時間の始めまたは終わりに1日2時間以内	一定の勤務形態の中から希望する時間帯に勤務できる 例:1日3時間55分×5日=1週あたり19時間35分勤務など	年間5日以内。子どもが複数の場合は10日以内	

● **育児休業中職員のキャリア支援**

育児休業中でも職員研修を受講できるので、安心して職場復帰することができます。

※希望者には託児サービスを用意しています。研修の休み時間には、子どもの様子を見ることができま



— Q1. 育児休業等を取得した感想は?

初めての育児では夜中の授乳やおむつ交換など手探り状態で戸惑うことも多くありましたが、日々成長していく子どもをそばで見守ることができとても有意義な時間を過ごせました。仕事とは異なり、育児は計画どおりに進まないことや社会からの孤立感を感じる時もありましたが家族のサポートにより人間的にも成長できたと感じます。復帰後も育児時間や看護休暇などの制度を活用し、子育ても仕事も両立して取り組んでいます。

— Q2. 家庭と仕事の両立のために心がけていることは?

リスク管理と周囲への感謝です。現在は育児時間を取得中のため少ない勤務時間内で効率よく仕事を行うこと、早い早めの進捗管理に努めています。また、子どもの体調不良による突発的な休暇時には職員が対応できるように書類を常に整理しています。家庭では家事育児を夫と分担し忙しい時にはお互いがサポートできるようにしています。職場や保育園の先生方など関わってくれる方々に感謝しつつ家庭と仕事の両立をがんばっています。

— Q3. 働くママとしての県庁の魅力は?

妊娠時から出産、出産後に柔軟な休み方、働き方ができるように制度が整っており、自由に選択できることです。また、育児時間取得中であっても責任のある仕事にも挑戦でき、自分にとっての理想的な子育てや仕事を両立しやすい環境があると思います。

— Q1. 育児休業等を取得した感想は?

初めて育児を取得したときは、2人目が生まれたときでした。2人の育児はとても大変で、早く職場に復帰したいと思いました。2度目に取得したときは、以前の経験から子育てを楽しむことができ、3人の子どもたちとかけがえのない時間を過ごすことができました。職場の方々がとても配慮してくださり、職場への復帰もスムーズでした。

— Q2. 家庭と仕事の両立のために心がけていることは?

家庭と仕事を両立することはとても難しいことですが、心がけていることは大きく2つあって、1つ目は仕事が多忙に忙しくても妻の何気ない話を聞くようにしています。2つ目は、固定観念を排除し、何事も柔軟に対応できるように意識しています。これらは県庁の業務の中で学んだことで、多岐にわたる業務は家庭にも活かすことができます。

— Q3. 働くパパとしての県庁の魅力は?

育児休業をはじめ、在宅勤務や時差通勤、時間単位での休暇など、制度が整っており、自分の生活にあわせた勤務ができるため、子どもの参観や行事に参加することができます。育児と仕事のメリハリが付き、仕事も一層頑張れます。